

清友

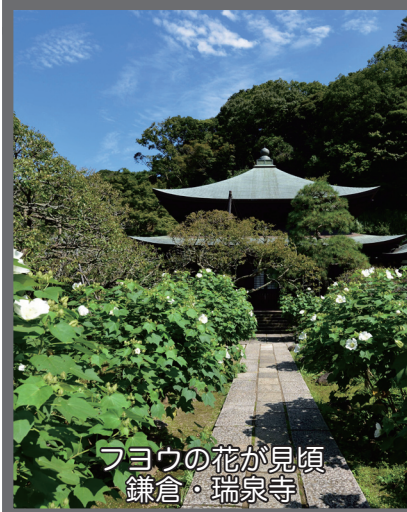
No. 121

2019年9月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



フヨウの花が見頃
鎌倉・瑞泉寺

親睦旅行の案内

- 日程 10月27日(日)
～28日(月)
- 宿泊 鬼怒川・ホテルニューさくら
(栃木県日光市鬼怒川温泉)
- 集合 北千住西口交番前
午前11時30分
※集合後、バス発車場所まで移動
※横浜で乗・下車可能
- 主な行程
〈1日目〉ホテル直行(昼食は各自)
夜は勿論カラオケ付宴会
〈2日目〉ミステリー・ミニツアー
※帰りのバスは15時50分発
※北千住着19時40分
- 会費 16,000円
※ミニツアー・昼食代1回含む
※二人一室も同額
- 申込み 9月28日(土) 締切

秋の親睦旅行

10月27日～28日

秋色の鬼怒川温泉

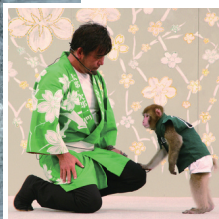
ミステリー・ミニツアー付 16,000円

昨年、「清友会」親睦旅行を3年ぶりに行うことができました。今年も、親睦優先の一泊バス旅行を企画しました。旅行先は紅葉真っ盛りの鬼怒川温泉です。秋色を一杯楽しめましょう。宿泊先は伊東園グループ「ホテルニューさくら」、美肌の湯が売りです。

1日目は温泉三昧と個室でカラオケ歌い放題の宴会。2日目は、ミステリー・ミニツアー。どこへ行くのかお楽しみに。日程等は別記のとおりです。

バスは貸切ではなく、ホテル直行的乗合ですので、バス内は禁酒という制約もあります。その分割安です。

ご家族はもちろん、退職者会以外の清掃出身の友人もお誘いの上、是非、参加ください。



**秋のフィールドワークの企画、
演芸を楽しむ会の実施計画、来
春の学習会のテーマ等を検討**

秋の親睦旅行の企画案を検討するため、8月26日に専門部会を開きました。検討結果は1面のとおりです。その他、
①秋のフィールドワーク、②演芸を楽しむ会、③来年春の学習会等を検討しました。

フィールドワークは美術鑑賞

秋のフィールドワークは、「埋立処分場・海と陸からの見学会」を計画していましたが、「新東京丸」の運航停止を考慮して、来年に延期しました。

その代わりに、お台場周辺の施設見学も考えましたが、適当な施設がないので、23区や会員地元の「お勧めスポットめぐり」を思いつきました。
今年、千代田区編で「美術から考える戦争と平和」国立近代美術館工芸館と国立近代美術館の常設館見学」を9月の幹事会に提案することにします。工芸館の建物は元近衛師団司令部庁舎ですし、近



代美術館の近代日本美術コレクションは日本一。特に藤田嗣治の戦争画は必見です。

演芸鑑賞会は2月上旬に開催

演芸を楽しむ会の会場は、例年同様国立演芸場ですが、具体的な実施計画を検討し、9月幹事会で日程も含め決めることにしました。

来春の学習会のテーマは？

春の学習会のテーマを検討しました。「頻尿の仕組みと対策（仮題）」にしたいと考えています。
講師は東京清掃顧問医の亀戸ひまわり診療所・平野敏夫さんを予定しています。

秋の学習会案内

- 日時 9月13日(金) 午後1時15分開会
- 場所 清掃会館地下ホール
- テーマ 日米地位協定と憲法
- 講師 吉沢弘久さん

(前・全日本自治退職者会会長)
(伊達判決を生かす会事務局長)

※午後3時から交流会

演は書物や映像での見識と違い、肉声による最先端のお話が直接聞け、大変貴重な経験をすることができました。内容は割愛しますが、宇宙のドラマを感じ取れて感動しました。終了後の反省会

**「宇宙物理学部」第6回臨時イベント
アロマ望遠鏡が解き明かす
銀河の誕生と進化の謎**

8月11日、「宇宙物理学部」臨時第6回イベントは、暑い昼下がりの銀座「タイムドーム明石(中央区立郷土天文館)」で、「アロマ望遠鏡が解き明かす銀河の誕生と進化の謎」という標題の講演を聞きに行くというものでした。

部員精鋭4名は、国立天文台アロマプロジェクト伊王野准教授による「宇宙開闢時の謎と、現在アロマ(電波望遠鏡)天文台による研究成果」の説明を受けました。約90分の講

には1名加わり、今後の活動などの意見交換を行いました。

なお、中央区に戻った元清掃一組本庁支部委員長の渋谷さんが、この施設の担当をしていて、お世話になりました。

館内にはプラレールやOHゲージが展示されており、お孫さんと遊びに行っても楽しい施設だと思います。皆さんも行かれてみてはいかがでしょうか。(箱田)



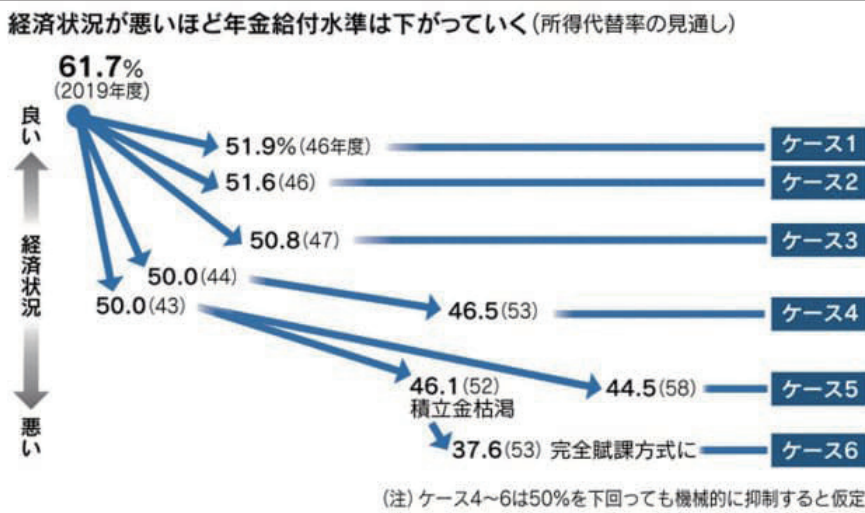
年金財政 検証結果

給付水準40%ダウンが現実味 賃上げと正規雇用拡大が必要

厚労省は8月27日に、「公的年金の19年財政検証結果」を公表しました。総体的には前回（14年）とほぼ同水準といえる傾向を示しています。

公表延期は参院選対策

前回は6月の公表でしたの



2029年度以降の長期の経済前提

	経済成長と労働参加	全要素生産性上昇率	物価上昇率	賃金上昇率(対物価)	運用利回り(対賃金)	経済成長率(実質)
ケース1		1.3%	2.0%	1.6%	1.4%	0.9%
ケース2	進む	1.1	1.6	1.4	1.5	0.6
ケース3		0.9	1.2	1.1	1.7	0.4
ケース4	一定程度進む	0.8	1.1	1.0	1.1	0.2
ケース5		0.6	0.8	0.8	1.2	0.0
ケース6	進まない	0.3	0.5	0.4	0.4	▲0.5

(注) ▲はマイナス

で、今回は3ヶ月弱遅れました。政府はその理由を「オプション試算を検証しているため」としていますが、前回は8段階のシミュレーション、今回は6段階、2段階減ったのに3ヶ月近くも遅れたのは、金融庁「年金不足2千万円」問題に加え、財政検証結果で

大幅年金ダウンを示せば、7月の参院選はもたないという判断によることは明らかです。

ケース5が現実的と指摘が

公表にあたり厚労相は、「経済成長と労働参加が進む」と(ケース1～3)を前提に、「所得代替率50%以上を確保できることが確認された。年金制度は概ね100年持続可能。」と断言しました。

これに対し、経済の専門家の大多数が「大甘のシミュレーション。」と批判しています。日銀が国債を買いまくって支えても物価上昇率は2%を超えません。過去30年間の物価上昇率の平均は0.5%です。経済専門家の多くは「ケース5」が現実的と指摘しています。

制度改革で給付水準は…

改革メニュー	所得代替率の変化(ポイント)
1 厚生年金の適用拡大 (A)企業規模要件(従業員501人以上)を廃止=125万人が加入 (B)賃金要件(月収8.8万円以上)も廃止=325万人が加入 (C)月収5.8万円以上の全雇者に適用=1050万人が加入	0.4~0.5
2 基礎年金の拠出期間を40年から45年に延長	6.4~6.9
3 75歳まで繰り下げして受給開始	33.4~39.1
4 65歳以上の在職老齢年金を廃止	0.3~0.4
5 上記の組み合わせ(C+2+3+4)	10.4~11.5
6 マクロ経済スライドをフル発動	0.2~2.8 (※)

※現行の仕組みで調整が終わった時点と比較

賃上げと正規雇用拡大を

政府の年金改革方針は、「68歳迄働けば年金は現行水準を維持できる」と高齢期も働かせることを主軸に、年金支給年齢引上げも示唆しています。お先真つ暗観がただよいいます。が、検証結果が5年前より落ち込むことなく、数値が一部好転した部分もあります。厚生年金の対象者拡大による成果が出ているのは明らかです。非正規⇨低賃金の構造を打破し、非正規の働き方でも生活できる賃金水準を確立し、正規雇用を拡大することが、年金の支え手を増やします。同時に出生率の上昇にも寄与するでしょう。大企業優先の不公平税制の是正も重要です。

世帯主義の変革が必要

年金制度の歪みは社会制度の反映です。封建的家族観に基づく世帯主義に依拠しては改善できません。個人の尊厳に立脚した制度の確立が求められます。それは、社会の改革にも繋がります。

東京清掃人権啓発推進担当者会議 清掃・人権交流会第21回定期総会

東京清掃人権啓発推進担当者会議と第21回清掃・人権交流会総会が、7月27日に清国会館で開催されました。

人権啓発推進担当者会議は、国立市の「くにたち原爆・戦争体験伝承者講話」語り部の二瓶治代さんから、東京大空襲のご自分の体験を生々しく語っていただきました。小学2年生だった二瓶さんは、江東区亀戸の自宅で45年3月10日の東京大空襲に襲われ、焼夷弾で焼き尽くされ多くの犠牲者が出た現場で九死に一生を得た実体験を話され、戦争のむごさと被害、加害の歴史にも触れた迫力と真実の説得力に、参加者一同がかたずを呑む思いで聞き入りました。

二瓶さんに続き、国立市人

権担当から「くにたち原爆・戦争体験伝承者講話」の事業が、広島・長崎以外では国立市だけの事業である



『くにたち原爆・戦争体験伝承者講話』語り部・二瓶治代さん

交流会は墨田区墨田区会館で行われ、交流会総会支部の司会進行



こと、今年4月施行された「国立市人権・平和基本条例」の意義について報告されました。引き続き行われた第21回清掃・人権交流会総会は、押田会長あいさつ、東京清掃中里委員長、部落解放同盟東京都連、全芝浦屠場労組の来賓あいさつを受け、坂部事務局長が経過報告、会計報告、郡司副会長が19年度活動計画提案、事務局長が会計予算案を提案、全て満場一致可決・承認されました。役員は三役は現行通りとなりました。なお、総会参加者は44名でした。(押田)

人事院

月例給0.09% (若年層を改善)
ボーナス0.05月引上げ
非常勤職員に夏期休暇を新設

人事院は8月7日、月例給ボーナスとも引上げ(6年連続)と住居手当改定の勧告を行い、非常勤職員の夏期休暇を新設しました。しかし、月例給の配分は若年層のみであり、再任用職員の月例給・一時金は改定されませんでした。非常勤職員に夏期休暇が付与されませんが、常勤職員との格差は放置されたままです。また、長時間労働やパワハラ防止対策は、研修等一般的な手法に留まり、障害者雇用偽装への反省もありませんでした。現役世代の闘いの成果が年金水準に直結します。今年も現役の闘いを応援します。

■勧告の概要

- (1) 月例給 民間との較差(0.09%、387円) 俸給344円、はね返り43円 初任給と若年層の俸給月額引上げ
- (2) ボーナス 0.05月分引上げ、勤勉手当に配分
- (3) 住居手当
 - ・公務員宿舍使用料上昇を考慮、手当支給対象家賃額下限引上げ(12,000円→16,000円)
 - ・民間の住宅手当支給状況等を踏まえ、手当額上限引上げ(27,000円→28,000円)
 - ・住居手当改定は2020年4月1日実施

■公務員人事管理に関する報告

- (1) 人材の確保及び育成
 - ①採用試験申込者数が減少。人材確保をめぐる諸課題の幅広い検討が必要。
- (2) 勤務環境の整備
 - ①長時間労働是正、仕事と家庭の両立支援制度周知、過労死等防止対策推進など。
 - ②非常勤職員に夏期休暇を新設。
- (3) 障害者雇用に関する取組
 - ・各府省の適切な選考等を引き続き支援。

戦争犠牲者追悼、平和を誓う8・15集会 非戦の誓いを新たに安倍政権を退陣へ

敗戦から74年、今年も8・15がめぐってきました。右翼の大音量のスピーカーが鳴り響く靖国神社から少し離れた千鳥ヶ淵戦没者墓苑で、「戦争犠牲者追悼・平和を誓う集会」が開かれました。

平和フォーラムや政党代表等の誓いの詞の中で、戦争をさせない1000人委員会内田正敏さんの詞が印象的でした。「74年前の敗戦を経て私たちは、『再び戦争の惨禍が起こらないようにする』ことを決意し、主権在民、戦争放棄、人権尊重を原理とする憲法を制定したが、『未完の憲法』と言われている。戦後の護憲・平和運動が戦争責任の追及・植民地支配の精算、米軍基地の重圧に苦しむ沖縄と向き合わず、これらの問題が解決されずに放置されているからだ。」

安倍政権は、日本の植民地支配と侵略の歴史を否定する歴史修正主義により世界から非難され、特に韓国との関係

は悪化しています。戦争に駆り立てられて死んだ兵士や、原爆や空襲で殺された民衆の苦しみと悲しみを思う時、戦争を始めた責任、止められなかった責任、アジアの人々に犠牲を強いた責任にまで思いを致さなければなりません。戦争や侵略を二度と起こさせない、安倍政権の戦争への道を許してはならない、と確認した8・15でした。(押田)



日韓市民の連帯でアベを倒せ!

8月19日、暑い夕暮れの中、参議院選挙終了後初の国会前19日行動が行われました。

冒頭、主催者から、①今回の参議院選挙で改憲勢力は3分の2を割り込んだ。市民と立憲野党の力だ。②安倍政権は韓国の徴用工判決に介入し、65年の日韓条約違反だと主張しているが、日本の歴代政府や裁判所は個人の請求権を明確に認めている。韓国への経済制裁は絶対に許せない。韓国の民衆は「反日」ではなく「反安倍内閣」だ。日韓市民の連帯で安倍を倒そう!

③「戦争法」に基づくイランへの自衛隊派遣は絶対許さない! ④来る衆院選では、選挙に棄権した「一票では世の中は変わらない。」と思う人々への訴えをより強固にし、今回の参議院選を教訓に、市民と野党の共闘に全力をあげ、安倍政権を退陣に追い込み、政治を変えようという提起がありました。

参議院選は一定程度前進できたものの与党の過半数割れには至りませんでした。今回、風は少ししか吹きませんでした。したが、何としても衆議院選では完全勝利したいものです。

この他、立憲野党や「韓国は『敵』なのか? 声明」呼びかけ人と田春樹さん、ジャーナリストの志葉玲さんなど5人のスピーカーが、朝鮮半島や中東情勢についてマスコミはフェイクニュースを流しているなどのお話がありました。暑かったけど、風が心地よい集会でした。退職者会の参加者は11名。皆さんお疲れさまでした。(箱田)



市民文化フォーラム8・15集会



講演する保坂展人世田谷区長

〈戦後日本〉の現在 歴史と自治の現場から

斎藤さん

歴史修正主義に明るく反転攻勢を！

市民文化フォーラム主催の8・15集会が教育会館で開かれました。かつて、総評が後援（国民文化会議主催）していた集会であり、毎年開催されて今回で55回目になります。今年は辛口で切れ味鋭い文芸評論家の斎藤美奈子さんと世田谷区長保坂展人さんがスピーカー。わかりやすく、これからの私たちの運動にも参考になる講演でした。（押田）

斎藤美奈子さんは、歴史修正主義に触れて愛知トリエンナーレ事件から話し始め、小池都知事が今年も関東大震災の時の朝鮮人虐殺犠牲者追悼

式への追悼文を拒否したこと、ケント・ギルバートや百田尚樹などの怪しげなネトウヨ本が書店をジャックしている現状を憂いました。

歴史修正主義への

保坂さん

政治を変えるため、保守リベラル派まで引き込もう！

保坂展人世田谷区

長の話は、民主党政権の失敗の教訓から始まりました。公約実現のため一気に自民党政治を転換しようとして、永田町の抵抗で挫折した民主党政権の負の遺産が、今も安倍長期政権を許している一因だと指摘しました。

8年前、区職員が大きな不安を抱く中

大きな分岐点は95年。河野談話や村山談話に対する右派の攻撃が一斉に開始され、安倍も台頭。「自虐史観」だとする教科書攻撃、「慰安婦」「南京事件」「朝鮮人虐殺」に対する科学的根拠のないイチャモン本が横行したとしています。

歴史認識と政治とメディアの劣化は三位一体で、背景にあるのはデフレ不況と社会不安だと指摘。またネトウヨの正体は、決して若者ではなく中高年男性が中心で、改憲支持派も40〜60代の男性が多い

で迎えられた区長初登庁の時、「5%の改革」を主張、区職員は安心し、5%改革を着実に積み重ねれば、大きく区政を転換できることをその後の実践で示すことができました。

保坂区長の手法は徹底した区民との対話。支援者に留まらず反対意見を持つ区民とも話し合い、区民の要望を受け止めて政策に反映させ、「青少年交流センター」「公的フリースクール」「ホッとこどもサポート」「児童養護施設退所者

と分析しています。

メディアでも嫌韓・反中が氾濫していますが、斎藤さんは明るく反転攻勢をしかけようと呼びかけました。リベラル派の主張は長くて分かりにくい、素早い反論とやさしく分かりやすい言葉で主張を届けようと。また主張の中心に「人権」を据えて憲法をもっと活用しよう。

斎藤さんの話し方は明快で感情豊か。聞いている参加者の心を楽しませながら納得させてくれました。

等奨学金事業」などを区民との対話の中から実現、「同性パートナーシップ宣誓」「エネルギーの自治体間連携」「公契約条例」の実施等も行なってきました。今、アメリカのポータランドに学ぶ取り組みもしており、最近「男を引っ張り出せ」と呼びかけているとのこと。地域に男性を参画させる取り組みです。

政治を変えるには保守リベラル派までどう引き込むかが肝要と締めくくりました。